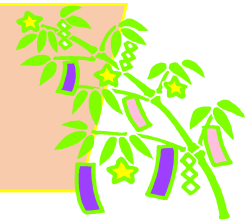


片平地区社会福祉協議会

霊屋下サロン



平成 26 年 7 月 30 日(水)

【霊屋下サロンどんな場所】

霊屋下町内会が主催し、主に老人クラブ寿会の方が参加しているサロンです。毎回、約 20 名ほどの方が参加され、ひな祭り、花壇作り、七夕飾り作り、クリスマス会など季節ごとの行事が年 6 回開催されています。

なにができるんだろう？



【約 50 人が参加?! 合同七夕会】

今回の霊屋下サロンは普段の顔ぶれとはちょっと違います。霊屋下町内会や寿会の方のほかにも、子ども会の子どもたちやお母さん方も一緒に参加し、合わせて約 50 人もの人々が集会所に集まりました。

まずは町内会と寿会の方が仙台七夕を若い世代にも知ってもらうため、七夕 7 つ飾りについて説明します。

「吹き流しはね、機織とか技芸がうまくなりますようにって想いが込められいるんだよ。」「投網は魚がたくさんとれることと幸せをかき集めるって想いを込

めて飾るんだよ。」…作り上げられた作品を 1 つ 1 つ指さしながら丁寧に紹介されていました。子どもたちはきめ細やかな飾りに胸をときめかせていました。

～七夕飾り作りがスタート～

仙台七夕の 7 つ飾りを町内会、寿会の方が 6 年生に教えながら一緒に作っていきます。「次はどうやるんですか?」「難しいなぁ」と言う 6 年生に明るく話しかけながら優しく教えられていました。一方、1～5 年生は折り紙を使って思い思いの作品を作り「できたよ!」「すごいでしょ!」と誇らしげな様子でした。この日は 30 度を超える真夏日であり、「暑い暑い。」と言いながらもついに完成です!! それぞれが自分らしい飾りを作り上げました。

みんなの夢が叶いますように



～いよいよ、飾り付け!!!～

集会所の隣の神社には寿会の方が朝から用意してくださった長さ 5 メートルはあろう立派な竹!!! それぞれが想いを込めて飾り付けます。あっという間にきれいな七夕飾りが完成しました。この作品は毎年、七夕期間中「るーぷるバス停瑞鳳殿前」横に取り付けられ、寿会、子ども会の 2 本の七夕飾りが観光客を迎えます。

地域は自分たちで盛り上げる!!

老人クラブだけの活動、子ども会だけの活動、町内会だけの活動といった縦割りではなく、それぞれの団体が枠を超えての活動を行っていたことから「みんなで地域を盛り上げる!」という言葉がまさにぴったりだと思いました。地域で住民一人ひとりがつながることによってみんなが笑顔になる。霊屋下サロン活動が住民の楽しみと人と人をつなぐ場所になっていると感じました。

七夕 7 つ飾りの肩籠完成!



瑞鳳殿が御開帳!!

仙台藩祖伊達政宗公の霊屋である瑞鳳殿。年間では政宗公の命日と正月三ヶ日しか御開帳となりませんが本日は特別に霊屋下町内会子ども会のために御開帳!! 凛とした姿を私たちの前に現しました。

願いを込めた短冊を霊屋下の 5・6 年生が代表して奉納し、みんなでお祈りをいたしました。

伊達政宗様!! みんなの願い、叶えてください!!!

取材・編集

東北福祉大学 今野亮太

宮城学院女子大学 伊藤悠